

平成30年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

平成30年度 公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 事業計画

1 基本方針

当財団は公益法人として8年目を迎え、目黒区の芸術文化の振興と地域社会の発展向上に寄与すべく、職員一丸となって取り組んでいるところでございます。

ところで、年初来、景気が回復傾向にあるとされる中、財団をめぐる中長期の課題として、美術館の所在する目黒区民センターの今後のあり方に関する議論が本格化することが見込まれ、また、目黒区が30年度以降5か年の新たな計画事業を策定中であり、ホールの機器更新も含めホール・美術館とも施設の老朽化が避けては通れない課題であると考えております。

さらに、財団にとって、30年度は31年度以降の指定管理者選定に向けた節目の年であり、財団がこれまで培ってきたノウハウと事業の実績を強くアピールしていかなければならない一年になると考えております。今後とも、財団をめぐる経営環境を楽観視することなく、区民や利用者など多くの方に親しまれ、愛されますよう、優れた人材の確保と育成に努めながら、区補助金や指定管理料を基礎としつつ、利用料金収入、他団体助成金、賛助金などの財源も活用して、質の高い事業の展開に努めてまいります。

併せまして、区の芸術文化振興プランに示された施策の一翼を担う団体であり区の指定管理者として、文化ホールと美術館に課せられた使命を果たすべく、「文化縁」の形成・醸成による「目黒のまちの魅力づくり」のため、積極的に取り組むとともに、国の「京都宣言」なども見据えて、2020年に向けた事業展開についても検討したいと考えております。

文化ホールと美術館では、前年度の周年記念事業もバネに、公益財団法人としての「収支相償の原則」を踏まえつつ、より一層職員の創意工夫によって、施設の利用率や入場者数等の向上を図ることによって財源確保に努めるとともに、サービスの向上と効率的かつ効果的な事業運営に心掛けてまいります。

目黒区文化ホール

1 事業方針

(1) 鑑賞事業

今年度は、昨年度の開館15周年事業の取組を今後の活動の糧にしつつ、区民に優れた芸術文化に接する機会を提供するため、財団の自主財源も活用して主催事業を実施するとともに、引き続き美術館の展覧会に合わせた連携コンサ

ートを実施します。

また、共催事業についても、利用料金収入とのバランスに留意しながら実施してまいります。

なお、鑑賞事業（主催・共催）の実施にあたっては、各年代層の要望に沿っていることや、公演のジャンルが偏らないことなどに留意しながら、事業計画を立ててまいります。

（2）地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力のある地域づくりを目指し、地域の多様な芸術文化団体の活動に対して、貸館利用や広報等の支援を継続してまいります。

また、地震への備えとして、区の補助も充てて7回目となる「避難訓練コンサート」を実施いたします。

（3）学習・練習事業

区の補助金のみならず他団体の助成金や財団の自主財源も充てながら、次代を担う子どもたちの育成や社会包摂の視点も踏まえて、積極的に取り組んでまいります。

特に、小中学生を対象としたアウトリーチプログラムを積極的に進めるとともに、学校以外では、東京医療センター、中目黒・東山・東が丘の各特別養護老人ホームでのコンサートのほか、心身障害者センターあいアイ館、区立幼稚園、区立こども園においても引き続き実施してまいります。また、ワークショップ事業は、子どもから大人まで、それぞれの年代を対象に実施してまいります。

（4）受託事業

今年度で53回目を迎える「目黒区文化祭」では、目黒区文化団体連合会や区と協力しながら民謡、合唱、洋舞をはじめ様々な芸術文化団体の活動支援に取り組みます。

また、「めぐろオータムアート」についても美術館と連携を図り、音楽と美術に親しむワークショップを実施します。

（5）貸館事業

区民をはじめ多くの皆様に利用いただいている貸館事業については、公平・公正や安全・安心に留意しながら施設の貸し出しや設備の保守管理に努めてまいります。

また、情報コーナーや受付窓口には、各種チラシ等を配備して公演等の情報提供を行ってまいります。

2 運営方針

(1) “響きの良さ”などホールの魅力について周知するとともに、地域に根差したホールとして親しまれるよう、より一層、地域コミュニティに寄与する取組を進めてまいります。

(2) 鑑賞事業等の主催・共催事業の実施に当たっては、広報・広告等の活用を図るとともに、27年度から始めたツイッターやフェイスブックなどを活用しながら、集客力を上げるための創意工夫に努めてまいります。

また、賛助会員の拡大に努めるとともに、他団体の助成金、企業からの協賛金、広告料の獲得などを積極的に推進して収入の確保に努め、収支のバランスを図った運営に取り組んでまいります。

(3) 児童・生徒を対象にしたアウトリーチプログラムやワークショップについては、教育委員会や学校等と連携を図り、芸術性の高い音楽等を通じて子どもたちの豊かな感性を育む事業の充実に努めてまいります。

また、東京医療センターや区立特別養護老人ホーム等でのアウトリーチプログラムについては、区や関係する施設との連携を密にしながら実施し、音楽を通して癒しや楽しさが感じられるように取り組んでまいります。

なお、学校等に派遣するアーティストについては、ホールでコンサートを実施した演奏家に依頼するなど、文化ホール活動との一体的な運営に努めます。

(4) 「目黒区文化祭」や「めぐろオータムアート」については、区の芸術文化推進事業や美術館との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めます。

(5) ホールの利用枠については、これまでの文化ホールにおける一般利用の実績や収益性、利用料金制を踏まえ、行政利用と財団利用を合わせて概ね大ホールが25%、小ホールが15%程度にとどめて運営してまいります。またホールの利用率の向上のため、周知方法等の工夫に努めます。

(6) 指定管理事業については、基本協定書及び年度協定書に沿って着実に履行するとともに、指定管理者運営評価委員会の指摘を真摯に受け止め、サービス向上の一層の改善に努めます。

なお、指定管理事業費には鑑賞事業実施の経費が計上されており、幅広い世代の区民を対象に、気軽に質の高い音楽に触れる機会を目的とした演奏会を実施してまいります。

(7) その他、事務経費全般については、これまで以上に節減し、適切な管理運営に努めます。

目黒区美術館

1 事業方針

(1) 展覧会事業

展覧会事業については、区民が親しみを感じ、特色のある自主企画展3展、指定管理事業である所蔵作品展と「めぐろの子どもたち展」の合わせて5展を開催します。年間の開館日数は、区展を加え200日程度を維持し、5展の年間入館者数3万2千人を目指します。また、観覧料について、昨年度に引き続き、区民向けの特典を区と協議してまいります。

(2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、観る、創る、考えるなどの活動や交流を通じて感性を育む事業として例年行っている夏、春のワークショップをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリーツアー、講演会等を実施します。これらの実施にあたっては、内容・開催日時など、より多くの関心と参加が得られるように検討してまいります。

(3) 調査研究

美術館の基本的な事業の一つである地域の文化資源等の学芸研究のほか、個々の学芸員の専門性を生かしながら、今後の美術館事業を見据えた調査研究を継続して行います。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えたインバウンド対応や障害者アートへの取組に関し、区と協議しながら調査研究を行います。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して、本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の活動を支援します。美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街等との協力関係の構築に努めるとともに、芸術文化活動の推進にあたって区や他団体等との連携を図ります。

(5) 区民ギャラリーの運営

区民ギャラリーの利用に関して、公平で公正な利用に供するため抽選会の運用などに留意しながら、展示や撤去等時の安全性を確保し、区民等の創作の発表・交流の場としてより一層適正な運営に努めます。

また、引き続き、空き利用の料金設定等に係る区との協議やPR等を工夫しながら新規利用者の増加を図るなど、さらなる利用率の向上を目指します。

2 運営方針

(1) 美術館事業の実施にあたっては、必要最小限の経費で予め作成した年間事業スケジュールに沿って実施します。また他団体助成金、企業からの協賛金の獲得など収入の確保に積極的に取り組むとともに、事業ごとの収支バランスに留意します。さらに、美術館事業に支障の無い範囲で、引き続きラウンジを一般利用に供し、収益の増に努めます。

(2) 広報の一環として、ホームページのほかツイッター、フェイスブックなどを活用した情報発信について、これまでの効果等も検証しながら有効性が高まるように努めます。

(3) ギャラリーツアー等の実施にあたっては、教育委員会・学校等との連携を図り、子どもの鑑賞活動機会の拡充を図ります。

(4) 「めぐろオータムアート」等の実施にあたっては、区の芸術文化推進事業や文化ホールとの連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。

(5) 指定管理事業については、基本協定書や年度協定書に沿って着実に事業を履行するとともに、指定管理者運営評価委員会からも指摘のあった人員態勢の確保について、適切に対応してまいります。

(6) 所蔵作品目録の改訂統合版の作成に着手し、31年度の刊行を目指します。

平成30年度 目黒区文化ホール 事業計画

I 自主事業

1 鑑賞事業 (17事業・44公演)

区分	事業・公演						30年度					
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	収入			支出	差額 (収入-支出) (自主財源)	
							チケット・参加費等	区補助金	合計			
主催	伝統芸能	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演。	1	3,653,160	0	3,653,160	3,304,000	349,160
	クラシック	2	3月	大ホール	○ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。管弦楽・読売日本交響楽団。	1	* 5,495,530	0	5,495,530	8,150,640	△ 2,655,110
		3	7月	小ホール	☆ 東京六人組による室内楽公演	著名なアーティストによる室内楽公演。	1	540,000	0	540,000	1,020,053	△ 480,053
	ポピュラー	4	冬頃	小ホール	○ JAZZ公演	著名なアーティストによるJAZZ公演。	1	540,000	0	540,000	693,136	△ 153,136
	ダンス	5	未定	小ホール	○ 熊谷和徳	目黒区内にスタジオを構える世界的タップダンサー熊谷和徳による公演及びワークショップ。	2	1,052,000	0	1,052,000	2,786,440	△ 1,734,440
	その他	6	未定	美術館	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演。	1	120,000	0	120,000	407,740	△ 287,740
	次年度	0	0	0	○ 次年度準備経費	次年度公演の準備経費。	0	0	0	0	50,000	△ 50,000
共催	バレエ	1	8月	大・小ホール	○ 東京バレエ団「第6回バレエ祭り」	区内にある東京バレエ団による公演と小ホールでのワークショップ。	20	55,200	0	55,200	55,200	0
	クラシック	2	12月	大ホール	★ クリスマス アヴェ・マリア	(株)光藍社主催によるサンクトペテルブルグ室内合奏団公演。	1	24,840	0	24,840	24,840	0
	オペラ	3	5月	大ホール	★ 二期会ニューウェーブ・オペラ劇場	(公財)東京二期会主催によるオペラ公演。	2	78,384	0	78,384	78,384	0
	ダンス	4	6月	大・小ホール	○ Meguro Dance Town 2018	ネクストジャパン(株)主催によるダンスフェスティバル。	3	5,520	0	5,520	5,520	0
	ポピュラー	5	7月	大・小ホール	○ ジャズ・ワールドビート2018	プランクトン主催のジャズフェスティバル。	2	53,544	0	53,544	53,544	0
		6	9月	大ホール	★ カニサレス フラメンコ・カルテット	プランクトン主催のフラメンコ・ギタリストによるコンサート	1	45,264	0	45,264	45,264	0
		7	7月	大ホール	★ 宇崎竜童弾き語りLIVE2018	東京労音主催による著名アーティストによるコンサート	1	60,720	0	60,720	60,720	0
		8	冬頃	大ホール	○ ゴスペルコンサート	ゴスペル歌手によるコンサートと公募参加者によるコンサート。	2	22,356	0	22,356	22,356	0
		9	1月	大ホール	○ デキシーランド・ジャズ・ジャンボリー	一般社団法人日本ポピュラー音楽協会主催によるジャズコンサート。	1	15,732	0	15,732	15,732	0
		10	10月	大ホール	★ 畠山美由紀	シンガーソングライター畠山美由紀による東京公演	1	35,880	0	35,880	35,880	0
	伝統芸能	11	春、夏、秋	大ホール	○ 落語	年3回の恒例の落語公演。	3	231,840	0	231,840	231,840	0
合計	17					44	12,029,970	0	12,029,970	17,041,289	△ 5,011,319	

* (公財)東京都歴史文化財団から助成金285万円(予定)を含む。

2 地域の芸術文化・支援事業

(19事業・22公演)

区分	事業・公演						30年度					
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	収入			支出	差額 (収入-支出) (自主財源)	
							チケット・参加費等	区補助金	合計			
主催	地域支援	1	4月	大ホール	○ 第7回避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画。	1	0	551,000	551,000	551,000	0
		2	冬頃	その他	○ 東日本大震災復興支援事業	目黒区と友好都市である宮城県気仙沼市等への復興支援事業。	1	0	0	0	400,000	△ 400,000
	新進支援	3	秋頃	小ホール	○ 未来の音コンサート	新進気鋭のアーティストによるコンサート。	2	750,000	0	750,000	1,311,497	△ 561,497
共催	団体支援	1	4月・3月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(決選・予選)	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール。	1	0	0	0	68,000	△ 68,000
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演。	1	1,000	0	1,000	1,000	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による、児童舞踊部門だけの公演。	1	1,000	0	1,000	1,000	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会*	目黒区東山オーケストラ主催による演奏会。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	0	0	0	0	0
		5	5月	中目黒GTプラザホール	○ 東京インターアーツ目黒コンサート	東京インターアーツ目黒主催による現代音楽と邦楽のコンサート。	2	900	0	900	900	0
		6	12月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会*	目黒区民交響楽団主催による定期演奏会。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	4,000	0	4,000	4,000	0
		7	6月	大ホール	○ 目黒吹奏楽団演奏会*	目黒吹奏楽団主催による定期演奏会。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	0	0	0	0	0
		8	7月	大ホール	○ 東京マンドリン宮田楽団 定期演奏会	東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会。	1	0	0	0	0	0
		9	6月	小ホール	○ 伝統文化に親しむ(雅楽)	(公財)北野生涯教育振興会による伝統文化公演。	1	0	0	0	0	0
		10	3月	小ホール	○ 北野財団主催 東日本大震災鎮魂コンサート	(公財)北野生涯教育振興会による鎮魂コンサート。公募で集まった区民が合唱団員として出演。	1	3,520	0	3,520	3,520	0
		11	7月	大・小ホール	○ 第16回パーシモンほたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント。	1	0	150,000	150,000	300,000	△ 150,000
		12	5月	大ホール	○ ユネスココンサート	目黒ユネスコ協会主催による演奏会。	1	7,500	0	7,500	7,500	0
		13	11月	大ホール	○ めぐる童謡コンサート*	童謡の里めぐり保存会主催による童謡・合唱等のコンサート。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	4,000	0	4,000	4,000	0
		14	12月	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	パイオニア(株)主催による聴覚障害者等を対象としたコンサート。	1	0	0	0	0	0
		15	3月	大ホール	○ めぐるクラシックセレクション*	区内のクラシック音楽家で組織された団体(目黒区クラシック音楽家協会)主催によるコンサート。パーシモン芸術文化ネットワークの1団体。	1	1,100	0	1,100	1,100	0
	子育て支援	16	3月	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート。	2	7,500	0	7,500	7,500	0
合計		19					22	780,520	701,000	1,481,520	2,661,017	△ 1,179,497

*パーシモン芸術文化ネットワークとは、芸術文化活動を通して活動団体の交流・連携・協力を深め、目黒区の芸術文化の振興を進めることを目的とした団体

3 学習・練習事業 (4事業・32公演)

区分	事業・公演					30年度					
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	収入			支出	差額 (収入-支出) (自主財源)
							チケット・参加費等	区補助金	合計		
主催	1	夏頃	小ホール	○ 子ども向けワークショップ(演劇、ダンス)	子どもを対象にしたワークショップ。パレットプログラムから名称変更する。助成金を活用予定。	2	* 1,532,500	0	1,532,500	1,532,500	0
	2	秋頃	小ホール	○ 大人のためのワークショップ	大人を対象にしたワークショップ。	1	30,000	0	30,000	1,100,000	△ 1,070,000
	3	年間	小中学校等	○ 学校アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流を実施。	25	0	3,300,000	3,300,000	3,300,000	0
	4	年間	その他	○ 学校以外のアウトリーチプログラム	様々な目黒区内の場所にアーティストが出向き、演奏等を実施。(病院等)。	4	0	0	0	200,000	△ 200,000
合計	4					32	1,562,500	3,300,000	4,862,500	6,132,500	△ 1,270,000

* (公財)北野生涯教育振興会から協賛金140万円(予定)を含む

公演等事業 (自主事業) 合計	14,372,990	4,001,000	18,373,990	25,834,806	△ 7,460,816
-----------------	------------	-----------	------------	------------	-------------

4 自主事業運営経費

	名称 (○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	30年度				
			収入			支出	差額 (収入-支出) (自主財源)
			チケット・参加費等	区補助金	合計		
自主事業 運営経費	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料。	0	870,000	870,000	870,000	0
	○ 都立大駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料。	0	477,560	477,560	477,560	0
	○ ボランティア活動の支援	ホールの事業等のスタッフとして活動を支援する。	0	0	0	50,000	△ 50,000
	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営。	884,800	0	884,800	38,000	846,800
	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布。	862,400	3,402,800	4,265,200	5,476,600	△ 1,211,400
合計			1,747,200	4,750,360	6,497,560	6,912,160	△ 414,600

(40事業・98公演)	ホール事業経費 総合計(公演事業+運営経費)	16,120,190	8,751,360	24,871,550	32,746,966	△ 7,875,416
-------------	------------------------	------------	-----------	------------	------------	-------------

II 指定管理事業

	事業・公演					公演数	30年度				
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容		収入			支出	差額 (収入-支出) (自主財源)
							チケット・ 参加費等	指定管理料	合計		
指定管理事業	1	未定	大ホール	○ クラシック等のコンサート	幅広い世代に、気軽に質の高い音楽に触れる機会を目的としたコンサート。	1	2,295,500	1,257,710	3,553,210	3,553,210	0
合計	1					1	2,295,500	1,257,710	3,553,210	3,553,210	0

ホール事業経費+指定管理事業費	18,415,690	10,009,070	28,424,760	36,300,176	△ 7,875,416
-----------------	------------	------------	------------	------------	-------------

公演等事業(自主事業)+指定管理事業費(受託事業)	16,668,490	5,258,710	21,927,200	29,388,016	△ 7,460,816
---------------------------	------------	-----------	------------	------------	-------------

III 区受託事業

	区分	事業・公演					公演数	30年度				
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容		収入			支出	差額 (収入-支出) (自主財源)
								チケット・ 参加費等	区受託料	合計		
共同主催	目黒区凶化祭	1	春・秋	大・小ホール等	○ 第53回目目黒区文化祭	日舞、合唱、民踊、華茶道、邦楽、郷土、洋舞、吟剣、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽、ユネスコの各団体による公演	14	0	1,928,136	1,928,136	1,928,136	0
	めぐろオータムアート	2	秋頃	大・小ホール等	○ めぐろオータムアート	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、たくさんの人に芸術文化に接し、親しんでもらうためのイベント	2	140,000	655,600	795,600	795,600	0
合計		2				16	140,000	2,583,736	2,723,736	2,723,736	0	

ホール事業経費+指定管理事業費+区受託事業費	18,555,690	12,592,806	31,148,496	39,023,912	△ 7,875,416
------------------------	------------	------------	------------	------------	-------------

平成30年度 目黒区美術館事業計画

【自主事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	事業費見込	収入見込		
					展示事業等収入	区補助金	自主財源
1	「没後50年 藤田嗣治 本のしごと」	4月14日(土)～ 6月10日(日) 【50日間】	エコール・ド・パリの画家 藤田嗣治が生涯にわたり手がけた「本」の仕事を紹介します。藤田がパリにいた当時のヨーロッパは、挿絵本の興隆の時代。藤田は、パリ画壇で評価を得ていくと同時に1920年代には挿絵を精力的に描きました。当館で、藤田の挿絵に関して2回目になるこの展覧会は、藤田嗣治の旧蔵本を中心に、当館が所有する挿絵本や絵手紙など当時の貴重な資料を合わせて展示します。(巡回開催:西宮市大谷記念美術館、ベルナール・ビュフェ美術館ほか。全4会場予定。)	12,720,000	6,650,000	0	6,070,000
2	「フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア」展	7月14日(土)～ 9月6日(木) 【47日間】	シンプルでも温かみのあるフィンランドの陶磁器は、世界各地で愛され続け、日本では食器などが中心で紹介されてきました。本展は、伝統を踏まえつつも新しく表現された陶芸に焦点を当て、最も華やかに開花した1950年代から1960年代の作品で構成します。北欧モダン・デザインとは一線を画す、フィンランド独自の豊かな表現をご覧ください。フィンランド・デザインの源泉に触れ、その奥深さを知るまたとない機会になるでしょう。(巡回開催:茨城県陶芸美術館、岐阜県現代陶芸美術館ほか。全5会場。)	12,304,000	4,704,000	6,320,000	1,280,000
3	「村上友晴」展	10月13日(土)～ 12月6日(木) 【47日間】	目黒区ゆかりの作家シリーズとして、美術だけにとどまらず、デザインや写真、建築なども視野に入れ、広い範囲の視覚芸術をとりあげます。初回は、目黒区上目黒にアトリエを構える美術家、村上友晴の世界を、当館の所蔵品を中心に紹介します。油彩や鉛筆などを丁寧にデリケートに駆使して制作する村上の作品は、寡黙な表情の中に、確固たる豊饒な奥行きが感じられます。昨今、国際的評価が高まっている村上の、黒や白のモノクロームによる静謐な世界を考察していきます。	10,148,000	2,668,000	0	7,480,000
				35,172,000	14,022,000	6,320,000	14,830,000

【指定管理事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	事業費見込	収入見込		
					展示事業等収入	指定管理料	自主財源
1	めぐろの子どもたち展	平成31年 1月19日(土)～ 2月3日(日) 【14日間】	目黒区立の幼稚園、小学校、中学校で学ぶこどもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものになりたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介します。あわせてアメリカチェロキー郡及び中国北京市東城区のこどもたちが描いた作品も展示します。	1,523,402	0	1,523,402	0
2	「目黒区美術館コレクション」展	平成31年 2月16日(土)～ 3月24日(日) 【32日間】	昨年11月、開館30周年を迎えた目黒区美術館。これまで収集してきた所蔵作品の中から人気の高い作品を中心に紹介します。当館の収蔵方針である、明治以降の滞欧米作家のほか、これまでに開催した展覧会がきっかけになり、近年あらたに収蔵品に加わった作品・資料なども紹介します。	3,098,000	1,248,000	1,850,000	0
				4,621,402	1,248,000	3,373,402	0

【自主事業・教育普及】

(単位:円)

NO	事業名	名称ほか	時期(予定)	募集対象	回数	内容	事業費見込	収入見込		
								展示事業等収入	区補助金	自主財源
1	ワークショップ (1)夏	自然のモチーフ で遊ぶ(仮称)	7月～9月	小学生、中学生、 大人	4コース程 度+遊び の広場	フィンランドデザインに関連した内容を予定。小学生・中学生向け2コース、大人、ファミリー向けを行う。さらに、平成28年に復活した「遊びの広場」も数日間の日程で実施を予定しています。	914,000	180,000	734,000	0
2	ワークショップ (2)春	美術を見る・知る (仮称)	平成31年 2月～3月	小学生～大人	3コース程 度	美術全般についての美術講座を予定し、美術の基本に関する第3弾としてのテーマを設定します。	722,500	335,000	116,000	271,500
3	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		4月～5月	中学生～大人	4回	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説する人気の庁舎建築ツアー。国内各地の村野建築ツアーなど関係する美術館等相互の広報も前年に続き予定していきます。	715,000	320,000	0	395,000
4	トイコレクション プログラム	アウトリーチ	5月、12月	乳幼児～大人	2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介します。トイの日は、美術館で実施します。				
		トイの日	7月	乳幼児～大人	2日					
5	大人のための 美術カフェ	各展覧会	各会期中	高校生以上	4回	平成26年度から始めた当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義。ラウンジで展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定してお話します。				
6	ギャラリーツアー	各展覧会	各会期中	小中学校	複数回	区内、近隣小中学校の鑑賞教室を受け入れていきます。				
7	デザインキャンプ		夏以降	高校生以上	1回	ハーマンミラーとのコラボレーション。デザインに関するワークショップ。今回で8回目の開催となります。				
8	美術講座1	館長による講座	夏以降	高校生以上	3回程度	目黒区美術館館長による美術に関する連続講座。				
9	美術講座2	美術館シリーズ	夏以降	高校生以上	3回程度	特定のテーマを深く掘り下げて、外部講師も交えて行います。				

【受託事業・教育普及】

(単位:円)

NO	事業名	名称	時期(予定)	募集対象	回数	内容	事業費見込	収入見込		
								展示事業等収入	区委託料	自主財源
1	めぐろオータムアート(目黒区文化・交流課と財団の共同企画)		秋頃	未定	検討中	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、家族で美術と美術館に親しんでいただくことのワークショップ。パーシモンホールとの共同企画で、音楽と美術に関する催事を行います。	198,800	12,000	186,800	0

《受託事業・目黒区文化祭》(区民ギャラリー)※日程については予定

- 1) 華茶道展:4月6日～8日 2) 自主グループ展:4月18日～22日 3) ユネスコ展:11月

《後援事業》(区民ギャラリー)※日程については予定

- 1) 目黒区書作家協会展:5月16日～20日 2) 目黒区美術家協会展:6月20日～24日 3) 目黒区美芸作家協会展:平成31年3月26～31日

《協力事業～主催;目黒区民作品展実行委員会》※日程については予定

- 1) 区展(区民作品展):9月19日～30日